

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 小学校の 10 教科の中から、「音楽」、「図画工作」、「体育」のうち 2 教科以上を含む 6 教科を選択して受験してください。
3. 氏名、受験番号を「令和 2 年度 小学校教員資格認定試験 解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
4. 受験番号、選択教科をマークしてください。
5. 「解答カード」の中で、特に受験番号、選択教科の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
6. 解答は全て選択教科の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
7. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。
「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。
8. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 180 分です。
9. 試験が終わるまで退室できません。
10. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
11. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
12. 問題文中の「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月文部科学省告示第 63 号)における対応する教科の章又は節を指し、各教科の『小学校学習指導要領解説』とは文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説』(平成 29 年 7 月)の対応する教科のものを指すものとします。

[マーク例]

13. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

14. 各教科のページ数は次ページの目次に記載しています。

(よい例) ●

(悪い例) ○ ⊗ ⊕ ⊙

目 次

1. 国 語	1
2. 社 会	9
3. 算 数	15
4. 理 科	23
5. 生 活	29
6. 音 楽	35
7. 図画工作	39
8. 家 庭	45
9. 体 育	51
10. 外国語(英語)	59

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

国 語

問 1 『小学校学習指導要領解説』の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについての配慮事項 ○〔知識及び技能〕に示す事項の取扱い」に示された「漢字の指導」に基づいた指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 国語科では第 5 学年に都道府県名に用いる漢字が配当されているが、社会科では第 4 学年において都道府県の名称と位置についての学習を行うので、社会科との関連付けを図るために第 4 学年でも指導している。

イ 第 2 学年の漢字の指導の際、「道路」の「道」は第 2 学年、「路」は第 3 学年の配当漢字であるが、黒板に書く時は、読む機会を増やし漢字に慣れることを目的として、「道路」のように振り仮名を付けて書いている。

ウ 漢字の字体・字形については、第 1 学年での指導が重要であるので、「学年別配当表」に示された漢字の字形を丁寧に指導することを心掛け、特に「とめ・はね」について、テスト等で児童の書く文字を評価する際は、「学年別配当表」の字形と同じであることを求めている。

エ 第 2 学年の漢字の指導では、第 1 学年に配当されている漢字を文や文章の中で使う習慣を身に付けさせることが大事であるので、第 1 学年の配当漢字である「音」と第 2 学年の配当漢字である「楽」とで構成された「音楽」は、「音がく」と必ず交ぜ書きするように指導している。

問 2 「小学校学習指導要領」の各学年の「2 内容〔知識及び技能〕(3)我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。」に示されている「書写に関する事項」に基づいた書写の指導の在り方として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 第 2 学年の児童に、「子犬」という文字を水書用筆を使用して書かせる際、筆の特徴を生かした筆圧などに注意して書くよう指導している。

イ 第 3 学年の児童に、「正月」という文字を毛筆を使用して書かせる際、毛筆は穂先の動きと点画のつながりが大事であるので、そこを意識して書くよう指導している。

ウ 第 1 学年の児童に、「お日さま」をフェルトペンで書かせる際、点画相互の接し方や交わり方などに注意して、勢いを大事にするために速く書くよう指導している。

エ 第 5 学年の児童に、大きな紙に「卒業生を送る会」のプログラムの掲示物を書かせる際、どのような筆記具を選んだらよいのかを考えさせ、その特徴を生かして書くよう指導している。

問 3 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと」の(1)に示された指導事項に基づく第3学年の学習活動である。この学習活動を行う際の指導として適切でないものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「友達の話を知ろう」という単元である。グループの中の一人が話し手になり、その内容をグループ内の他の人が聞く活動をしたい。

- ア 友達の話を知るときには、必要な内容を記録し、分からない点や確かめたい点を質問するよう指導する。
- イ 話の内容を予想して聞いたり、聞いた内容と自分の知っていることとを比べたりすることにより、自分の考えをもつよう指導する。
- ウ 話の中心がどこにあるかをつかむために、どのような順序で話が組み立てられているかを意識しながら話の要点を知よう指導する。
- エ 話し手の目的や自分が知ろうとする意図に応じて、友達の考えを知取り、自分の考えと比較して同じところや違うところを整理させた上で、自分の考えの筋道を明確にするよう指導する。

問 4 次に示すのは、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年及び第2学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと」の(1)に示されている指導事項に基づいた第2学年の学習活動である。この学習活動の後に指導する内容として正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【学習活動】

「しょうかい文を書こう」という単元である。「わたしたちの学校のよいところを見つけ、1年生のみんなにつたわるように書きましょう」という目標を設定して、指導を行っている。前時までの学習では、しょうかい文を書くための材料を収集させ、それをカードに書く指導を行ってきた。

- ア カードの共通点や相違点を見付けさせることが大事なので、比較したり分類したりさせる指導を行う。
- イ カードの中から、伝えたいことを決めることが大事なので、自分が一番述べたい内容のカードがどれかを考えさせる指導を行う。
- ウ カードの中から、文章として順序よく構成できるカードを決めることが大事なので、最も書きやすいカードを考えさせる指導を行う。
- エ カードには経験に基づく内容が含まれていることが大事なので、自分の経験を全てカードに書き出しているかどうかを考えさせる指導を行う。

問 5 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと」の(1)のイ及びエでは、次のように示されている。これらの内容をねらいとした具体的な指導として適切でないものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。

エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

ア 登場人物を描いた挿絵を手掛かりとして、物語の全体像を想像させるだけでなく、場面の様子を描いた挿絵などが人物像を浮かび上がらせるのに効果的に使われているかを考えさせる指導をした。

イ 登場人物の行動や会話、様子を表している複数の叙述を結び付け、それらを基に登場人物の性格や考え方等について総合して人物像を想像させる指導をした。

ウ 感動やユーモアを感じさせる叙述、暗示性の高い表現に着目させ、こうした優れた描写が、物語の全体像や人物像を捉える上で、どのような役割を果たしているかを考えさせる指導をした。

エ 登場人物の心情が直接表れた描写を見付けさせ、登場人物の相互関係や心情などを考えさせるだけでなく、人物像が情景などに暗示的に表現されている部分がないかどうかを考えさせる指導をした。

問 6 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

細川俊夫『魂のランドスケープ』

承諾を得ておらず不掲載

上の文章は、二つの段落で構成されている。第1段落はどのようなことを言ったものか。その説明として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 川の流れは、せせらぎという観念を越えて、根源的なものの声が止むことなく響いているということ。
- イ 川の流れは、微細にその響きを聴こうとすれば、激しくまた優しくといった豊かな変化に富んだ響きを聴かせてくれるということ。
- ウ 川の流れは、常に豊かに変化しながら、同時に世界生成を促す不易としての響きが保たれているということ。
- エ 川の流れは、根源的には同質のものであり、豊かに変化しているように見える激しさや優しさも、本当は変わらないということ。

問 7 問6の文章中の傍線部A「逝くものは斯の如きか」の意味として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 流れゆく川は、いつもこのように流れているのであろうか。
- イ 流れゆく川は、いつもこのように流れているのであろうか、いや違う。
- ウ 過ぎゆくものは、みなこの川の流れのようなものであろうか。
- エ 過ぎゆくものは、みなこの川の流れのようなものであろうか、いや違う。

問 8 問 6 の文章中の傍線部 B

問6と同様 不掲載

]とあるが、同じよ

うな思いが込められていると解釈できる俳句はどれか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 夏草や兵どもが夢の跡
- イ 五月雨をあつめて早し最上川
- ウ 草の戸も住替る代ぞひなの家
- エ 閑さや岩にしみ入蟬^{いる}の声

(日本古典文学全集『松尾芭蕉集』)

問 9 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

いざ子ども山へに行かむ董^{すみれ}見に
明日さへ散らば如何^{いか}にとかせむ

「いざ子ども」という呼びかけは『万葉集』に、「いざ子ども早く日本^{やまと}へ丈^{はかり}伴^{とも}の御津^{みつ}の浜松待^{まつ}ち恋^{こひ}ひぬらむ」(巻一)など四例あるが、それらはどれも「さあみんな」とおとなへの呼びかけであるのに対し、子供好きの良寛はそれを文字通りの意に使った。良寛が『万葉集』の表現をいかに多くわがものにしていくかは追々^{おおい}見てゆくことにするが、どれも完全に自分の言葉として使っているので使い方がごく自然だ。

さあ子供らよ、山へ行こうじゃないか、董^{すみれ}を見に。今日行かないで、A、
という。これもごく自然に気持をそのまま歌にしたものだが、子供らに呼びかける心の弾^{はじ}みが声調^{せいちょう}にあらわれている。

(中野孝次『良寛 心のうた』)

上の文章の空欄Aに入る表現として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 明日になると散ってしまうので、どうしようもないよ
- イ 明日になって散ってしまっていたら、どうしようもないよ
- ウ 明日になると散ってしまうので、どうにかしようね
- エ 明日になって散ってしまっていたら、どうにかしようね

問10 問9の文章中の傍線部『万葉集』の説明として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 『万葉集』は、奈良時代の歌集で全20巻あり、七五調での歌を基本とし、理知的で、優美・繊細な歌が多く、後代の歌の規範となった。
- イ 『万葉集』は、万葉仮名で書かれた最初の勅撰和歌集であり、約400年にわたって全国各地の歌、様々な階層の人々の歌を集めている。
- ウ 『万葉集』は、最古の歌集と呼ばれ、代表歌人として第1期の大伴家持、第2期の柿本人麻呂、第3期の山部赤人、第4期の額田王などが挙げられる。
- エ 『万葉集』は、約4500首の歌から成り、三大部立ての「雑歌」「相聞」「挽歌」の他に、「東歌」や「防人歌」もある。歌体は短歌が最も多く、長歌や旋頭歌もある。

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

社 会

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容」において示された、育成することを旨とする資質・能力に関する記述に照らして誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア〔第 3 学年〕 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

イ〔第 4 学年〕 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

ウ〔第 5 学年〕 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の文化に対する愛情、我が国の環境の保全や国民生活の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

エ〔第 6 学年〕 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

問 2 第 3 学年における「地域に見られる生産や販売の仕事」の単元の学習で、「仕事の工程」や「他地域や外国との関わり」に着目して地域に見られる生産や販売の仕事を調べることにした。次の A～D は、調べる内容を示したものである。『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 各学年の目標及び内容 第 1 節 第 3 学年の目標及び内容」に基づいた、調べる内容として最も適切な組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- A 工業生産における原材料の確保、生産から出荷までの仕事の工程
- B 農家や工場などの仕事に見られる原材料の仕入、施設・設備、働く人の仕事の手順、生産物の販売の様子
- C 外国を含めた商品の産地や仕入れ先の名称と位置、買い物に来る客の居住地の範囲
- D 輸出入を通じた我が国と諸外国との関わり

- ア A と C
- イ A と D
- ウ B と C
- エ B と D

問 3 第 4 学年における「県内の伝統や文化、先人の働き」の単元の学習で、博物館や資料館などを見学したり、昔と現在の市の地図や写真などの資料で調べたりして、年表などにまとめた。このような学習活動に関して、「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 4 学年〕 2 内容」に示されている「県内の伝統や文化、先人の働き」についての「知識に関わる事項」として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。
- イ 県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことを理解すること。
- ウ 県内の文化財や年中行事には、地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解すること。
- エ 地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解すること。

問 4 第 5 学年における「我が国の国土の様子と国民生活」の単元について、『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 各学年の目標及び内容 第 3 節 第 5 学年の目標及び内容」に基づいた学習指導の在り方を述べた文として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア A 先生は、我が国の領土の範囲を調べる活動を行う際、児童の発達の段階を考慮して、竹島や北方領土、尖閣諸島が我が国の固有の領土であることについては触れないようにした。

イ B 先生は、地球儀を用いて 2 点間の方位や距離を確かめたり、緯度や経度等を使って位置を説明したりする活動を取り入れた。

ウ C 先生は、世界の主な国について、その国の名称や我が国との位置関係を世界地図や地球儀で確認し、それらの国の国旗について調べる学習を行った。

エ D 先生は、自然条件から見て特色ある地域の学習において、自分たちの住んでいる地域の自然条件とは異なる地域を事例地とした。

問 5 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容」では、第 6 学年の歴史学習で取り上げる 42 人の人物を挙げ、それらの人物の働きを通して学習できるように指導することが求められている。取り上げる 42 人に含まれない人物を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 西郷隆盛

イ 大久保利通

ウ 坂本龍馬

エ 勝海舟

問 6 第 5 学年における「我が国の農業や水産業における食料生産」の単元の学習で、果実を取り上げ、日本の主な果実の生産量について調べた。次の表は、生産量が上位の 5 県(2017 年)を示したものであり、表中のア～エは、柿、ぶどう、みかん、もものいずれかである。ぶどうに当てはまるものを、表中のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア	イ	ウ	エ
和歌山	山梨	和歌山	山梨
愛媛	福島	奈良	長野
熊本	長野	福岡	山形
静岡	和歌山	岐阜	岡山
長崎	山形	愛知	福岡

『日本国勢図会 2019/20 年版』より作成

問 7 第 6 学年の歴史学習において、参勤交代や鎖国などの江戸幕府の政策について調べて年表にまとめる活動を行った。次のア～エに示した江戸時代の出来事について、古い順に並べて 3 番目に当たるものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ポルトガル船の来航を禁止する。
- イ 島原・天草一揆が起こる。
- ウ 平戸のオランダ商館を出島に移す。
- エ スペイン船の来航を禁止する。

問 8 第 6 学年の歴史学習において、琉球(沖縄)の歴史について調べる活動を行った。次のうち、琉球(沖縄)の歴史について述べた文として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 按司あじと呼ばれる有力者たちが城(グスク)を拠点に争っていた。
- イ 14 世紀に入ると、北山・中山・南山の三つの勢力(三山)にまとまっていった。
- ウ 15 世紀初め、中山王となった尚泰が三山を統一して琉球王国をたて、首里を都とした。
- エ 首里には、1879 年まで琉球王国の都がおかれ、その王宮が首里城である。

問 9 日本の司法制度に関する説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 裁判員候補者名簿は、地方裁判所ごとに管内の市町村の選挙管理委員会が、くじで選んで作成した名簿に基づいて作成されるが、裁判員候補者名簿に登録されるのは20歳以上に限られる。
- イ 裁判員裁判は、裁判員の精神的負担を勘案し、民事裁判で行われる割合が高い。
- ウ 最高裁判所長官は、内閣の指名に基づいて、天皇が任命する。
- エ 下級裁判所とは、高等裁判所、地方裁判所、家庭裁判所、簡易裁判所を指す。

問10 小学校における社会科の学習を構想する際に、どのような点に配慮すればよいか、『小学校学習指導要領解説』の「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」に基づいて適切と思われるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 歴史に関わる事象を扱う学習では「時間的な経緯」に、地理的環境に関わる事象を扱う学習では「空間的な広がり」に着目させるなど、深い学びを実現するために、視点を限定した学習となるよう配慮したい。
- イ 位置や空間的な広がりに着目して社会的事象を捉える見方・考え方を養うことができる教材として、第3学年や第4学年では、地図を使うことに重きをおいた学習を行い、第5学年や第6学年では、地図帳の内容構成などを理解させる学習を行うように配慮したい。
- ウ 多様な見解のある事柄の学習では、児童が多角的に考え、事実を客観的に捉え、公正に判断することは難しいため、話し合い活動で一つの結論を出しやすいよう、特定の立場や観点からの教材を扱うように配慮したい。
- エ 児童の知的好奇心を高め、学習への動機付けや学習の深化を図ることができるとともに、諸感覚を通して実物や本物に触れる感動を味わうことができる、地域の博物館などの施設を積極的に活用することに配慮したい。

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

算 数

問 1 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』における「数学的な見方・考え方」の記述の一部である。文章中の ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

「数学的な見方・考え方」のうち、「数学的な見方」については、「事象を数量や図形及びそれらの関係についての概念等に着目してその ① を捉えること」であると考えられる。また、「数学的な考え方」については、「目的に応じて数、式、図、表、グラフ等を活用しつつ、根拠を基に筋道を立てて考え、 ② を振り返るなどして既習の知識及び技能等を関連付けながら、 ③ に考えること」であると考えられる。

- | | | | |
|---|---------|-----------|-----------|
| ア | ① 性質や法則 | ② これまでの学習 | ③ 統合的・発展的 |
| イ | ① 性質や法則 | ② 問題解決の過程 | ③ 数学的 |
| ウ | ① 特徴や本質 | ② 問題解決の過程 | ③ 統合的・発展的 |
| エ | ① 特徴や本質 | ② これまでの学習 | ③ 数学的 |

問 2 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 算数科の目標及び内容 第 2 節 算数科の内容 1 内容構成の考え方 (2) 内容領域の構成～五つの領域について～」の記述の一部である。空欄 ① ～ ③ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

児童の発達の段階を踏まえ、算数科と数学科の接続の視点から、① の四つの段階で育成を目指す資質・能力と、働かせる数学的な見方・考え方を明らかにした。例えば、従来の「量と測定」領域の内容を見直し、下学年に「測定」領域を設定したり、従来の「数量関係」領域における② の育成について新規に③ 領域を上学年に設定したりしたのは、この考え方によるものである。

- ア ① 第 1 学年，第 2 学年と第 3 学年，第 4 学年と第 5 学年，第 6 学年
② 関数の考え
③ 「変化と関係」
- イ ① 第 1 学年，第 2 学年，第 3 学年と第 4 学年，第 5 学年と第 6 学年
② 統計的な問題解決
③ 「データの活用」
- ウ ① 第 1 学年，第 2 学年と第 3 学年，第 4 学年と第 5 学年，第 6 学年
② 統計的な問題解決
③ 「変化と関係」
- エ ① 第 1 学年，第 2 学年，第 3 学年と第 4 学年，第 5 学年と第 6 学年
② 関数の考え
③ 「データの活用」

問 3 数の相対的な大きさについて、第 3 学年で指導する内容として適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 500 や 700 は百を単位とすると 5 や 7 とみられることから、 $500 + 700$ を $5 + 7$ とみることができる。

イ 6000 を「10 が 600 個集まった数」とみたり、「100 が 60 個集まった数」とみたりすることができる。

ウ 1.68 を 0.01 が 168 個集まった数とみることができる。

エ $\frac{1}{4}$ の二つ分の大きさが、 $\frac{1}{2}$ と等しいとみることができる。

問 4 次の①～④は、加法・減法を用いて答えを求める文章題である。それぞれの文章題が表す加法・減法が用いられる場面と意味の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

① りんごが 7 個入った箱と、5 個入った箱があります。りんごは全部で何個あるでしょう。

② ただし君は 7 本、みほさんは 5 本の鉛筆をもっています。ただし君とみほさんがもっている鉛筆の本数の違いは何本でしょう。

③ 赤い折り紙が 7 枚あります。青い折り紙は赤い折り紙より 5 枚少ないそうです。青い折り紙は何枚でしょう。

④ 公園で 7 人の子供が遊んでいました。そこに 5 人の子供が来ました。全部で何人になったでしょう。

ア ① 合併 ② 求大 ③ 求残 ④ 増加

イ ① 合併 ② 求差 ③ 求小 ④ 増加

ウ ① 増加 ② 求大 ③ 求残 ④ 合併

エ ① 増加 ② 求差 ③ 求小 ④ 合併

問 5 次の①～④の式は、上底が2cm、下底が8cm、高さが4cmである台形の面積を求めるために児童が立てた計算式を表している。また、A～Dは、それぞれの児童の台形の面積の求め方を示した図である。児童が立てた計算式と面積の求め方を示した図の組合せとして最も適切なものを、解答群のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ただし、長方形、正方形、平行四辺形、三角形の面積公式は既習であるものとする。

① $\{(2 + 8) \times 4\} \div 2$

② $(2 + 8) \times (4 \div 2)$

③ $(2 \times 4) + \{(8 \div 2) \times 4 \div 2\}$

④ $(2 \times 4 \div 2) + (8 \times 4 \div 2)$

A



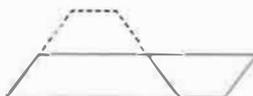
B



C



D



[解答群]

	①	②	③	④
ア	A	B	D	C
イ	C	B	D	A
ウ	C	D	B	A
エ	A	D	B	C

問 6 次の表は、テストの点数の分布を累積度数分布表で表したものである。この表から読み取れることとして正しくないものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

階 級	累積度数
0 点以上 20 点未満	3
20 点以上 40 点未満	12
40 点以上 60 点未満	28
60 点以上 80 点未満	36
80 点以上 100 点以下	40

- ア 中央値が含まれる階級の階級値は 50(点)である。
- イ 20 点以上 40 点未満の累積相対度数は 0.3 である。
- ウ 40 点以上 60 点未満の人数は 16 人である。
- エ 60 点以上 80 点未満の相対度数は 0.9 である。

問 7 次の図のように、平面上に何本かの直線があつて、どの 2 本も平行でなく、また、どの 3 本も同一の点で交わらないとする。

1 本するとき



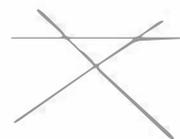
交点の数は 0

2 本するとき



交点の数は 1

3 本するとき



交点の数は 3

直線の数 が 10 本のときの交点の数として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 28

イ 36

ウ 45

エ 55

問 8 以下に示した分数の中で、有限小数として表せないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

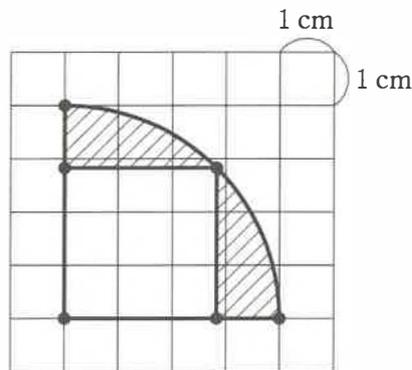
ア $\frac{1}{16}$

イ $\frac{1}{7}$

ウ $\frac{1}{5}$

エ $\frac{1}{8}$

問 9 次の図は、正方形とおうぎ形を組み合わせた図形である。斜線部分の面積として正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。ただし、 π は円周率を表すとする。



ア $4\pi - 8$ (cm²) イ $4\pi - 16$ (cm²) ウ $16\pi - 8$ (cm²) エ $16\pi - 16$ (cm²)

問10 「小学校学習指導要領」の「D データの活用」領域では、様々なグラフとその用い方を指導することになっている。次に示す問題を解決するために用いるグラフとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

[問題]

ある図書館においてインターネットによる図書の貸出冊数が実際に増えているのかを調べるために、貸出冊数の合計に占める窓口利用の割合とインターネット利用の割合を年次変化に合わせて比較したい。

ア 棒グラフ

イ 折れ線グラフ

ウ 帯グラフ

エ 柱状グラフ

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

理 科

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 3 学年〕 2 内容 A 物質・エネルギー (3) 光と音の性質」に示された内容として適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 物から音が出たり伝わったりするとき、物は震えていること。また、音の大きさが変わるとき物の震え方が変わること。

イ 音は物が振動することによって生じ空気中などを伝わること。

ウ 音の伝わる速さについて、空気中を伝わるおよその速さにも触れること。

エ 音の高さは発音体の振動の仕方に関係すること。

問 2 第 6 学年「電気の利用」における「コンデンサーに手回し発電機を接続し、手回し発電機を回してコンデンサーに電気を蓄え、蓄電されたコンデンサーを豆電球や発光ダイオードに接続し、豆電球や発光ダイオードが点灯する時間を比較する実験」に関連して、記述内容が適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア コンデンサーにはマイナス端子とプラス端子がある。

イ 発光ダイオードにはマイナス端子とプラス端子がある。

ウ コンデンサーに電気を蓄えるとき、手回し発電機のハンドルを回す回数によってコンデンサーに蓄電される電圧の大きさが変わることがある。

エ コンデンサーに電気を蓄えるとき、手回し発電機のハンドルを回す速さによってコンデンサーに蓄電される電圧の大きさが変わることはない。

問 3 第 5 学年「振り子の運動」において「振り子が 1 往復する時間に何の関係しているのかを調べる実験」を行う際に、内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 振り子が 1 往復する時間はおもりの重さによっては変わらない。

イ 振り子が 1 往復する時間は振り子の長さによって変わる。

ウ 振れ幅を極端に大きく変えて実験すると、振り子が 1 往復する時間が振れ幅によって変わる場合がある。

エ 振り子の長さは、糸などをつるした位置からおもりまでの糸の長さである。

問 4 第 5 学年「物の溶け方」の学習において、各班で食塩(NaCl)と焼きミョウバン($\text{AlK}(\text{SO}_4)_2$)がそれぞれ水 100 ml にどれだけの質量まで溶けるかの実験を行い、学級全体での平均を求めたところ、次の表のようになった。このとき、物質質量で比較するとどちらが多く溶けていると言えるか。その記述として正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。ただし、食塩と焼きミョウバンの式量は、それぞれ 58.5 および 258 とする。

水 100 ml に溶けた質量(g)

	20 ℃	60 ℃
食 塩	34	36
焼きミョウバン	12	56

- ア 物質質量で比較すると、20 ℃ のときも 60 ℃ のときも、食塩が多く溶けている。
- イ 物質質量で比較すると、20 ℃ のときは食塩が、60 ℃ のときは焼きミョウバンが多く溶けている。
- ウ 物質質量で比較すると、20 ℃ のときは焼きミョウバンが、60 ℃ のときは食塩が多く溶けている。
- エ 物質質量で比較すると、20 ℃ のときも 60 ℃ のときも、焼きミョウバンが多く溶けている。

問 5 第 6 学年「燃焼の仕組み」の学習に関連して、燃焼に関する記述として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 燃焼の 3 要素とは、「可燃物、酸素、湿度」である。
- イ 角砂糖は有機物であるショ糖からできているため、マッチの火で簡単に燃える。
- ウ 1-ブタノール($\text{C}_4\text{H}_9\text{OH}$)とベンゼン(C_6H_6)をそれぞれ燃やすと、ススが多いのはベンゼンである。
- エ 酸素 40 % と二酸化炭素 60 % の混合気体が入った集気瓶の中に、火のついたロウソクを入れると、普通の空気と比べ、あまり燃えない。

問 6 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 6 学年〕 2 内容 B 生命・地球 (1) 人の体のつくりと働き」に示された内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 生物の体が細胞からできていること。
- イ 体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていること。
- ウ 食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されること。
- エ 血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいること。

問 7 第3学年「身の回りの生物」において「昆虫の育ち方には一定の順序があること」を学習する。

『小学校学習指導要領解説』では「昆虫の育ち方については、『卵→幼虫→^{さなぎ}蛹→成虫』や『卵→幼虫→成虫』などの変態の仕方の違う昆虫を用意し、それらを比較することによって、その過程が異なるものがあることにも触れるようにする」と示されている。変態の仕方が同じ昆虫の組合せを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア モンシロチョウとエンマコオロギ
- イ ナミアゲハとクロオオアリ
- ウ カブトムシとアブラゼミ
- エ コクワガタとシオカラトンボ

問 8 第6学年「土地のつくりと変化」の学習において、学校の近くで地層の観察を行った。各層のおよその厚さや粒の大きさなどに着目させて、その様子を児童にスケッチさせたところ、次の図のようなスケッチを描いた。これらの地層はいずれも岸の近くの海底でできたことが分かっている。図の各層のうち、最も岸から離れた海底で形成されたと考えられる層はどの層か。最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



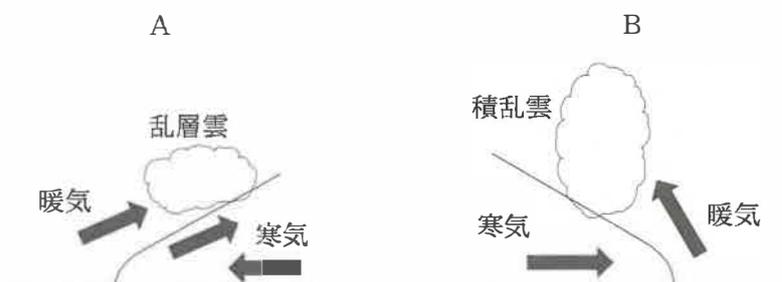
- A : 2番目に厚く、泥からできている。
- B : 1番薄く、少し荒い砂からできている。
- C : 1番厚く、大きな石や小さな石が多い。
- D : 2番目に薄く、細かな砂からできている。

- ア Aの地層
- イ Bの地層
- ウ Cの地層
- エ Dの地層

問 9 第 6 学年「月と太陽」の学習において、日本から見える月の位置や形と太陽の位置の関係について考えさせようと、午前 9 時に月を観察させたところ、月は南西の空に見えていた。そのとき見えていた月の形を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



問10 第 5 学年「天気の変化」の学習において、実際の天気の変化をもとにした授業を計画するため、勤務する小学校付近での天気の変化に着目することとした。その日の早朝、小雨が降って寒かったが、児童が登校するころに雨は上がり、やがて晴れ間が見える天気となって、日中の気温も上昇した。しかし、夕方になると再び雲が増え始め、下校時にはかなり強い雨となり、比較的暖かだった気温も急に低くなった。この日の早朝と下校時に小学校付近を通過したと思われる低気圧の前線は、それぞれどのような前線であったと考えられるか。次に示す前線の断面の模式図とその名称の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。ただし、断面は小学校から北に向かって見たものとする。



	早朝の雨を降らせた前線		下校時の雨を降らせた前線	
	断面図	名称	断面図	名称
ア	A	温暖前線	B	寒冷前線
イ	B	寒冷前線	A	温暖前線
ウ	B	温暖前線	A	寒冷前線
エ	A	寒冷前線	B	温暖前線

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

生 活

問 1 1年生の生活科において「学校を探検しよう」という単元の授業をすることになった。学校内の様々な施設、設備、人に着目させる際の配慮について適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 同じ場所や人とばかり関わることがないように学校内にたくさんの探検コースを作り、毎回異なったコースで探検させる。

イ 校内の施設には、理科室のように勝手に入ってはいけない危険な場所や触ってはいけないものがあることを事前に指導しておくことが大切である。

ウ 教職員に学校探検の日程や意図を伝えておくことで、児童の見守りや道案内などの協力を得ることができる。また児童にとっては担任だけでなく、学校にいるすべての先生たちに見守られていることを実感させることができる。

エ 探検した内容を児童から聞き取る時には、一方的に指導するだけでなく、なぜそこに行こうと思ったのか、何が興味深かったのかを考えさせることが大切である。

問 2 1年生の生活科において「通学路を歩こう」という単元の授業をすることになった。学外の様々な施設、設備、自然、人に着目させる際の配慮について適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 通学路の安全を考えるために、交通標識や横断歩道といった交通ルールについても児童に見せながら歩くとよい。

イ 毎朝出会う交通安全指導の人と挨拶や会話を交わすことを通して、多くの地域の人たちに支えられていることを感じさせる。

ウ 通学路は安全に行動できることを前提としているため、校外学習で通学路を歩く場合において、教職員や保護者による見守りの協力を検討する必要はない。

エ 友達の通学路を歩くことにより、自分の通学路と同じ花が咲いていたり、普段見かけない虫がいたりすることに気付かせ、記録カードに絵や言葉でまとめさせる。

問 3 1年生の生活科において「みんなの公園で遊ぼう」という単元の授業をすることになった。公園内の様々な施設、設備、自然、人に着目させる際の配慮について適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 児童の公園の利用経験には差があるため、2年生と一緒に遊ぶことにより公園の遊具の正しい遊び方やルール、マナーを教えてもらう機会をつくとよい。

イ 公園を利用している他の利用者に迷惑がかからないように、利用者が少ない時間に限って、公園で遊ぶ活動を計画することが重要である。

ウ 公園では遊具だけでなく、トイレやベンチ、水飲み場、ごみ箱といった公共物にも着目させ、実際に使ってみる活動をするとうよい。

エ 公園での遊び方だけでなく、利用する人や季節の変化にも気付くように複数回訪問するようにする。

問 4 1年生の生活科において「生き物となかよし」という単元の授業をすることになった。本単元を行う上で適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 学校の敷地内で飼育できる生き物には限界があるので、児童の意見を取り入れながら餌の確保や日常的な飼育活動が可能な動物を選択するとよい。

イ 児童のアレルギーなどを考慮しながら、直接接触、餌を与える、かわいがるといった活動を行うことが大切である。

ウ 教室で飼育するのに適したハムスターの平均寿命は2～3年である。

エ 休日や長期休暇中の飼育動物の世話については生命維持に配慮し、教師のみが責任をもって行うことが望ましい。

問 5 1年生の生活科において「大きくなあれ 私の野菜」という単元の授業をすることになった。授業の内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 育てたい野菜について児童自身が調べて野菜を選ぶとよい。

イ トマトやキュウリなどの花や実の数を数えることのできる野菜は、算数との合科的指導に適している。

ウ 野菜の成長記録は生活科の毎回の授業で扱い、絵だけでなく、詳しく説明させる文章を書かせるようにするとよい。

エ 責任感をもって育てさせるために、授業以外でも毎日の水やりや成長観察をさせるようにするとよい。

問 6 1年生の生活科において「秋であそぼう」という単元の授業でドングリを使っておもちゃや楽器を作ることになった。材料となるドングリの取り扱いについて誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア ドングリは殻が固いので、やじろべえやコマを作る際には、事前に教師がキリや小刀で穴を空けたり、加工しておいたりすることが望ましい。

イ 拾ってきたドングリは形や大きさを観察して、種類を分類したり、図鑑で名前や特徴を調べたりするような活動に発展させるとよい。

ウ ドングリゴマは、よく回るように実験を繰り返して作ることが望ましい。

エ ペットボトルにドングリを入れるとマラカスができる。ドングリの種類や数、大きさによって音が変わること気付かせる。

問 7 2年生の生活科において「お店屋さんを調べよう」という単元の授業をすることになった。授業を展開する上で配慮すべき事項として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 訪問するお店は教師が事前に連絡をし、インタビューなどの対応や時間などの了解を得ておくことが必要である。
- イ 児童がお店の人にインタビューする際には事前に質問内容を考えるよりも、その場で感じたことを直接質問した方が児童の自主性を促すことができる。
- ウ 絵地図や記録カードなどを事前に準備し、調べた内容を自由に書き込んだり、壁に貼ったりして、児童間の交流が自然と行えるようにしておく。
- エ 伝え合い交流する場を設け、児童間で発見したことを比較することにより、次に調べたいことを明らかにし、またお店屋さんへ行きたいという意欲を高めることができる。

問 8 2年生の生活科において「動け 私のおもちゃ」という単元の授業をすることになった。授業の内容として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 教科書に掲載されたおもちゃなどを参考にして作ることにより、動く仕組みに気付くことができる。
- イ 動くおもちゃの動力については、手動以外にゴムや風、磁石などが考えられる。
- ウ おもちゃが動かない場合は、そのおもちゃを動かすために試行錯誤することより、別のおもちゃをいろいろと試してみることが大切である。
- エ 本単元で動くおもちゃ作りをした後には、1年生や園児を招待して「遊びまつり」を企画することにより、児童の興味・関心・意欲を高めることができる。

問 9 『小学校学習指導要領解説』の「第 4 章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いについて」において、実際の授業で配慮すべきものの中で適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 地域の人々、社会及び自然を生かす学習活動を工夫する際に、複数の要素を取り入れると児童も混乱するため、組み合わせて扱う場合は二つ程度に留めておくことと授業の目的が明確になる。

イ 生活科での活動を通して、気付いたことや楽しかったことなどを、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法で表現できるように配慮する必要がある。

ウ これからの時代は ICT の活用が必須であるため、デジタルカメラやタブレット型端末などの情報機器を効果的に取り入れて活用させる。

エ 挨拶や言葉遣い、社会でのルールやマナーといった生活上必要な習慣や技能の指導については、授業の内容・展開に即して、必要に応じて指導しなければならない。

問10 生活科の授業全般についての説明で適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 『小学校学習指導要領解説 生活編(平成 20 年 8 月)』において、「スタートカリキュラム」は「学校生活への適応が図られるよう、合科的な指導を行うことなどの工夫により第 1 学年入学当初のカリキュラムをスタートカリキュラムとして改善することとした」と示されている。

イ 動物を飼ったり、植物を育てたりする活動は継続的な活動であり、児童だけでなく指導する教師にも負担が大きいため、各学年にどちらかを行えばよい。

ウ ものづくりや探検活動など、試行錯誤や繰り返す活動を設定することが必要である。

エ 児童への評価に当たっては、「作ったおもちゃ」や「見つけた秋」の数といった「量的な面」の評価に偏らないようにしなければならない。

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

音 楽

問 1 「小学校学習指導要領」の「第1 目標」において、育成することを旨とする資質・能力に含まれないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 表したい音楽表現をするために必要な技能
- イ 音楽表現を工夫する力
- ウ 音楽の多様性について理解する力
- エ 曲想と音楽の構造などとの関わりを理解する力

問 2 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容 2 内容 B 鑑賞」の教材として取り扱うように示されていないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 第1学年及び第2学年では、わらべうたや遊びうた
- イ 第1学年及び第2学年では、楽器や人の声による演奏表現の違いを聴き取りやすい曲
- ウ 第3学年及び第4学年では、和楽器の音楽を含めた我が国の音楽
- エ 第3学年及び第4学年では、劇の音楽

問 3 「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容 3 内容の取扱い」に示されている歌唱共通教材について、各教材曲とその歌詞が伝えようとしている季節感の組合せが正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア ひらいたひらいた — 夏
- イ こいのぼり — 冬
- ウ 茶つみ — 秋
- エ 虫の声 — 春

問 8 ホ短調の音階を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア

イ

ウ

エ

問 9 和音とコードネームが一致しているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア

B \flat ₇

イ

C₇

ウ

F_m

エ

A \flat

問10 日本の伝統音楽や古典芸能に関する説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 箏(こと)は、古墳時代から使われていたと考えられている。
- イ 三味線は、室町時代に琉球から本土に伝わった。
- ウ 歌舞伎役者は化粧をするが、能役者は化粧をしない。
- エ ソーラン節は、稲刈りの作業をする時に歌われる仕事歌の民謡である。

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

図画工作

問 1 次の文は「小学校学習指導要領」の「造形遊び」の活動を通して工夫する内容について、各学年で示されているものの一部である。空欄の ① ~ ⑤ に入る適切な語を〔語群〕から選択し、その組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学 年	活動を工夫してつくること
第1学年及び第2学年	① , ② するなど手や体全体の感覚などを働かせ、
第3学年及び第4学年	③ , ④ , ⑤ するなどして、手や体全体を十分に働かせ、
第5学年及び第6学年	方法などを組み合わせたりするなどして、

〔語群〕 A 重ねたり B 形を変えたり C 組み合わせたり
 D 切ってつないだり E 積んだり F 並べたり、つないだり

	①	②	③	④	⑤
ア	D	E	C	A	F
イ	D	A	F	C	B
ウ	F	E	C	D	B
エ	F	A	E	D	C

問 2 図画工作科の授業において、「造形遊び」の活動を行う際に配慮する事項(①～④)として正誤の組合せの正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 造形遊びにおいては、新しい発想を生み出すために学外の施設や広場など、初めて児童が目にする空間で自由に活動することが望ましい。
- ② 造形遊びは自由な活動なので、材料の提供や活動場所の指示、説明、声掛けはせず、児童が自由に遊ぶ中から表現活動を生み出していくことが重要である。
- ③ 造形遊びの活動では一人一人の発想や構想を大切にするため、グループでの活動よりも個人での活動を優先させるようにすべきである。
- ④ 造形遊びではダイナミックな活動が期待されるため、グループでの活動が望ましい。そのためにはグループの人数や男女比を考慮しながら、最初にグループのメンバーを決めてから、そのメンバーでできる活動を考えさせるとよい。

	①	②	③	④
ア	×	○	×	○
イ	○	×	○	×
ウ	○	○	×	○
エ	×	×	×	×

問 3 図画工作科の授業において、「絵に表す」活動を行う際に配慮する事項として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 児童の発達段階を考慮した教材の設定が重要である。低学年では直接クレヨンなどで輪郭線を描き始めるが、学年が上がるにつれて写実的表現を求めるようになると画材を工夫する必要がある。
- イ 絵に表す活動には最後まで仕上げるという根気強さを育てる目標がある。そのため、授業中に終わらない児童に対しては、昼休みや放課後などの時間を活用し、最後まで仕上げるように指導することが望ましい。
- ウ 絵に表す活動では四角い紙にこだわることなく、段ボールや牛乳パックなどの材料に描いたり、紙を切って自分の好きな形の紙に描いたりする活動などの工夫が必要である。
- エ 前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すことを身に付けることができるよう指導する必要がある。

問 4 図画工作科の授業において、「絵に表す」活動として木版画の授業を行うことになった。版画の制作に際して誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 彫刻刀の丸刀は丸みのある線を彫ることができる。広い面も彫ることができる。
- イ 彫刻刀の三角刀は丸刀に比べて細い線を彫ることができる。細かいところも彫ることができる。
- ウ 彫刻刀の平刀は広い面を平らに彫る時などに使う。刃の平らな面を下にして彫る。
- エ 版画の作業台を使って、版木が動かないように押さえて、版木を回しながら常に前に向かって彫る。

問 5 高学年での図画工作科の「工作に表す」授業として、1枚の板を使って生活の中で使うものを作ることにした。その際に指導する内容として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 作りたいもののスケッチを描いて、計画を立ててから制作に取り組むように指導する。
- イ 木の端から順に木取りすることにより、板の無駄をなくすとともに、余った部分も使いやすくなる。
- ウ 工作用紙などで試作する際には、板の厚みなどを考えて計画させるとよい。
- エ 図画工作科の教材なので使用用途・目的に即したデザインよりも、表面の絵柄などの装飾性を大切にして指導するのがよい。

問 6 図画工作科の授業において、「工作に表す」活動を行う際の指導について正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア はさみやのこぎりなどの刃物は常に児童が扱える場所に配置し、正しい持ち方や使い方を教師が手本を見せて一斉指導をするよりも、各自で習熟していくことで自分なりの表現ができるようになる。
- イ はさみは低学年の段階で楽しくはさみを使って自由に切る活動などを取り入れ、十分に使い方に慣れさせるようにすることが大切である。
- ウ アイデアスケッチを一つの表現としてしっかり描かせ、それに近づけるように指導することが児童の発想や技能の広がりにつながる。
- エ 新しい発想での表現を促すために、多少高価であっても児童にとって興味の湧く新しい材料やセット販売されている教材を、毎回与えるような指導を心掛ける。

問 7 図画工作科の授業において、「工作に表す」活動を行う際の用具(カッター)の使用方法的説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア カッターで直線を切る時は、定規の目盛りのない方に刃を当てて、定規をしっかり押さえて切るとよい。
- イ 使わない時は刃をしまい、人に渡す時は刃の出る方を持って渡すようにする。
- ウ カッターで曲がった線を切る時は、紙も動かしながら切るとよい。
- エ カッターの刃はできるだけ長く出して、刃のソリを使って切ると小学生でも使いやすい。

問 8 図画工作科の授業において、「立体に表す」活動で「板づくり」を行う。その際の粘土の成形方法について空欄の ① ～ ⑤ に入る適切な語を[語群]から選択し、その組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- 1 粘土のかたまりの両側に ① を置き、 ② でのばす。
- 2 できた粘土の板に型紙を当てて、 ③ で形を切り出す。
- 3 切り出した形の粘土の部品を ④ でしっかりとはり合わせて、組み立てる。
- 4 外側の継ぎ目が見えないように、 ⑤ で粘土をのばして形を整える。

[語群] A どべ B へら C 目印 D のし棒
 E たたら板 F 指 G カッター H てのひら
 I 細かく切った粘土

	①	②	③	④	⑤
ア	C	F	B	I	H
イ	I	F	G	A	D
ウ	E	D	B	A	F
エ	E	D	G	I	F

問 9 「鑑賞」活動を行う際に配慮すべきこととして正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 「身近にある作品」の中には、自分たちや友人が作った作品が含まれるが、鑑賞をする際は基本的に完成品を相互に鑑賞することが重要である。
- イ 美術作品とは、基本的に美術館等に展示されている作品を指すため、日用品や工芸品などは含まない。
- ウ 「鑑賞」の活動においては、作品に秘められた作者のメッセージを「見る」という行為によって正しく感じ取ることが重要であり、自分なりの味わい方を考えたり、感じ方を広げたりすることはメッセージの間違った解釈になる可能性がある。
- エ 児童の作品を相互に鑑賞するための環境づくりとして、作品の展示場所には階段の踊り場や廊下の壁など、児童の見やすさや安全性に配慮する必要がある。

問10 『小学校学習指導要領解説』の「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 2 内容の取扱いと指導上の配慮事項」に記述されている〔共通事項〕の説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 〔共通事項〕の指導は各学年で示されているため、その学年での指導をしっかりと行い、繰り返しにならないように配慮する。
- イ 第1学年及び第2学年においては、いろいろな形や色、触った感じなどを捉えること。
- ウ 第3学年及び第4学年においては、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じ、色の明るさなどを捉えること。
- エ 第5学年及び第6学年においては、動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えること。

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

家 庭

問 1 次の文章は、『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 1 節 家庭科の目標」の抜粋である。文章中の ~ に入る正しい語句の組合せを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

「に係る見方・考え方」に示される視点は、家庭科で扱う全ての内容に共通する視点であり、相互に関わり合うものである。したがって、児童の発達の段階を踏まえるとともに、取り上げる内容や題材構成等によって、いずれの視点を重視するのかを適切に定めることが大切である。例えば、家族・家庭生活に関する内容においては、主に「」、衣食住の生活に関する内容においては、主に「」や「生活文化の継承・創造」、さらに、消費生活・環境に関する内容においては、主に「」の視点から物事を捉え、考察することなどが考えられる。

	①	②	③	④
ア	家庭科	健康・快適・安全	持続可能な社会の構築	協力・協働
イ	生活の営み	協力・協働	健康・快適・安全	持続可能な社会の構築
ウ	家庭科	持続可能な社会の構築	協力・協働	健康・快適・安全
エ	生活の営み	健康・快適・安全	持続可能な社会の構築	協力・協働

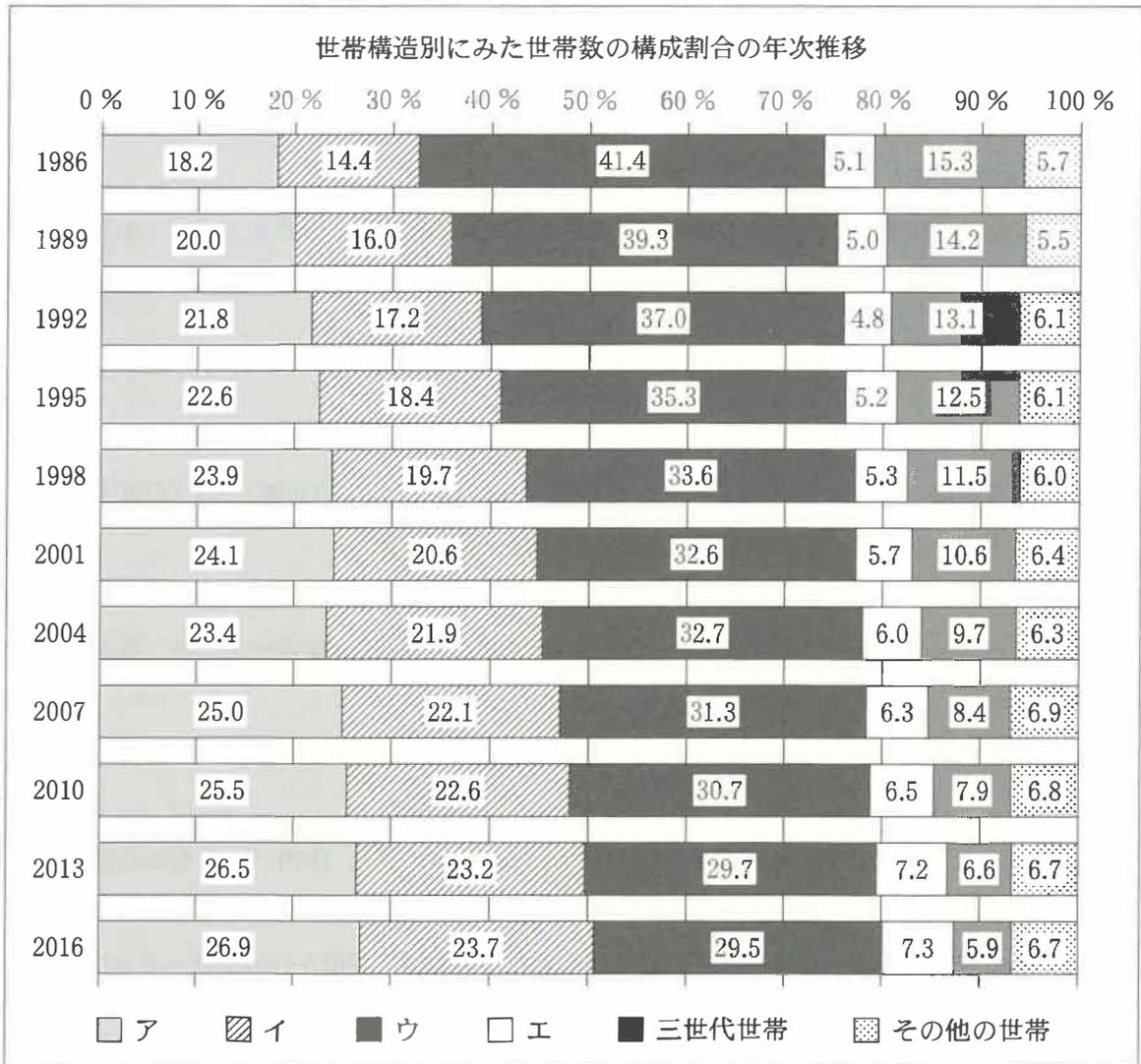
問 2 次の文は『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 家庭科の目標及び内容 第 3 節 家庭科の内容」の抜粋である。小学校における幼児に関する学習内容として正しいものを、下の解答群ア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

今回の改訂では、小・中・高等学校の内容の系統性を図り、少子高齢社会の進展に対応して、家族や地域の人々との関わりとして、幼児又は低学年の児童や高齢者など異なる世代の人々との関わりについても扱うこととし、中学校における幼児・高齢者に関する学習につなげるようにしている。

[解答群]

- ア 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供の育つ場としての家族の役割について理解すること。
- イ 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解すること。
- ウ 幼児など様々な人が地域では生活しており、自分の生活にも関わりがあることが分かる。
- エ 幼児の健やかな発達のために、親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察すること。

問 3 次の図は、世帯構造別にみた世帯数の構成割合の年次推移のグラフである。「夫婦と未婚の子のみの世帯」を表しているのはどれか。下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



出典 平成 30 年国民生活基礎調査(平成 28 年)の結果から グラフでみる世帯の状況
厚生労働省政策統括官(統計・情報政策担当)

問 4 『小学校学習指導要領解説』の「第2章 家庭科の目標及び内容 第3節 家庭科の内容 B 衣食住の生活 食生活」における調理の基礎に関する記述として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 調理に必要な食品の分量は、一人分の量から考えておよその量が分かるようにする。
- イ 加熱用の調理器具(ガスこんろ、IH クッキングヒーターなど)の特徴を知り、安全な取扱いについて理解し、適切に使用できるようにする。
- ウ まな板は衛生的に取り扱うため、使用する前に水でぬらし、ふきんでふいてから使用する。
- エ 調理実習は、地域の生活文化に根差した特産物(野菜・肉・魚など)を用いた題材を選択するのがよい。

問 5 次の各文は、栄養素や食品に関する記述である。①～⑤の文の正誤(○×)の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① ピーマンのβ-カロテン含量は、可食部 100 g あたり 600 μg 未満であるが、緑黄色野菜に分類される。
- ② みそ汁の調理などで用いる「煮干しだし」には、うま味成分としてイノシン酸が多く含まれる。
- ③ 日本人が不足している栄養素の一つにカルシウムがあり、体内への吸収のためビタミンEを併せて摂取する必要がある。
- ④ 消費期限とは、いたみやすい食品に表示されているので期限を守って食べる方がよい。
- ⑤ ご飯を炊く時には、米の体積に対しておおよそ 1.2 倍の水を加えるとよい。

	①	②	③	④	⑤
ア	○	×	×	○	○
イ	×	○	○	×	×
ウ	○	○	×	○	○
エ	×	×	○	×	×

問 6 次の各文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の内容〔第5学年及び第6学年〕 1 内容 C 消費生活・環境 (1) 物や金銭の使い方と買物 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。」に述べられている内容である。文中の ~ に入る正しい語句の組合せを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- (ア) の仕組みや消費者の が分かり、物や金銭の大切さと な使い方について理解すること。
- (イ) 物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の が適切にできること。

	①	②	③	④	⑤
ア	消費	役割	実践的	必要な	調査・検討
イ	買物	責任	実践的	必要な	閲覧・まとめ
ウ	消費	責任	計画的	身近な	選択・発信
エ	買物	役割	計画的	身近な	収集・整理

問 7 次の各文は、「食品ロス(本来食べられるのに捨てられる食品)」に関する記述である。内容として誤っているものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 日本で1年間に出される食品ロスの半分は、家庭から出る食べ残しや過剰除去などによるものである。
- イ 家庭から出る食品ロスの発生量は、2010年に入ってから増加の一途である。
- ウ 「循環型社会形成推進基本法」(平成12年法律第110号)では、家庭から出る食品ロス発生量を2030年までに半減させる削減目標を設定している。
- エ 国連の「持続可能な開発サミット」で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」にも、食品ロス削減や食品リサイクルの促進が言及されており、食品資源の有効活用が模索されている。

問 8 まち針の使い方として最も適切なものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 縫う方向に水平になるように打つ。
- イ 布を持ったときに針先が自身の方を向くように打つ。
- ウ 2枚の布をとめるときは、しるしとしるしを少しずらして打つ。
- エ まち針は布の両端を打った後に、中央を打つ。

問 9 洗濯用洗剤及び仕上げ剤に関する説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 界面活性剤は、親水性が低く親油性が高い。
- イ 蛍光増白剤は、白色衣服の白さを増すための染料の一種である。
- ウ 漂白剤は、汚れの色素あるいは汚れ自体を化学的に分解する。
- エ 柔軟剤には、静電気防止効果がある。

問10 次の文章は、健康で快適な住生活に関する記述である。文章中の ① ～ ④ に当てはまる正しい語句の組合せを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

室内で明るさを得る方法は、窓面などから日光を取り入れる ① と電灯などを利用する ② がある。日光は、室内を明るく暖かくするほか、日光に含まれる ③ は殺菌作用をもち、生体リズムにも影響するなど、健康で快適な住生活において重要な役割をもつ。また、照らされている面の明るさを ④ といい、作業内容や空間の用途に応じた適切な明るさの確保が必要である。

- | | ① | ② | ③ | ④ |
|---|------|------|-----|----|
| ア | 自然採光 | 人工照明 | 赤外線 | 輝度 |
| イ | 自然採光 | 人工照明 | 紫外線 | 照度 |
| ウ | 人工照明 | 自然採光 | 赤外線 | 輝度 |
| エ | 人工照明 | 自然採光 | 紫外線 | 照度 |

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

体 育

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容」として示されている「1 目標 (1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。」という文は、どの学年についての記述か。次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 第 1 学年及び第 2 学年
- イ 第 3 学年及び第 4 学年
- ウ 第 5 学年及び第 6 学年
- エ 第 1 学年から第 4 学年に共通

問 2 あなたが小学校で体育主任になった際、学校全体のカリキュラムを考える上で必要なことについて述べた各文の中から誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 6 年間の見通しをもって、年間指導計画を作成することになるが、運動領域と保健領域の指導内容の関連を踏まえること。
- イ 児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進するため、必要に応じて、地域の人的・物的資源等の活用を検討しておくこと。
- ウ 低学年の場合、他教科等との関連を積極的に図るようことや、幼稚園教育との関連を図ること。
- エ 自校の子供たちの実態よりも、他校の体育主任から年間指導計画をもらい、他校とカリキュラムを合わせること。

問 3 次の文章中の〔 A 〕～〔 D 〕に当てはまる正しい語句の組合せを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

5年生の学級担任として、器械運動「跳び箱運動」の授業を、『小学校学習指導要領解説』に則って考えることにした。跳び箱運動は、低学年の〔 A 〕で、〔 B 〕を行い、中学年の時に切り返し系や回転系の基本的な技を行ったので、高学年では〔 C 〕の基本的な技を〔 D 〕行ったり、その発展技を行ったりすることにする。

[解答群]

- | | | |
|---|----------------------|----------------------------------|
| ア | 〔A〕 跳び箱を使った運動遊び | 〔B〕 跳び乗りや跳び下り、両手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下り |
| | 〔C〕 同じ系統 | 〔D〕 安定して |
| イ | 〔A〕 跳び箱遊び | 〔B〕 開脚跳びと台上前転 |
| | 〔C〕 かかえ込み跳びと伸膝台上前転など | 〔D〕 美しく |
| ウ | 〔A〕 固定施設を使った運動遊び | 〔B〕 タイヤ跳び |
| | 〔C〕 違う系統 | 〔D〕 大きく |
| エ | 〔A〕 多様な動きをつくる運動遊び | 〔B〕 体を移動する運動遊び |
| | 〔C〕 同じ系統 | 〔D〕 素早く |

問 4 次の文章中の〔 A 〕～〔 D 〕に当てはまる正しい語句の組合せを、下の解答群ア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

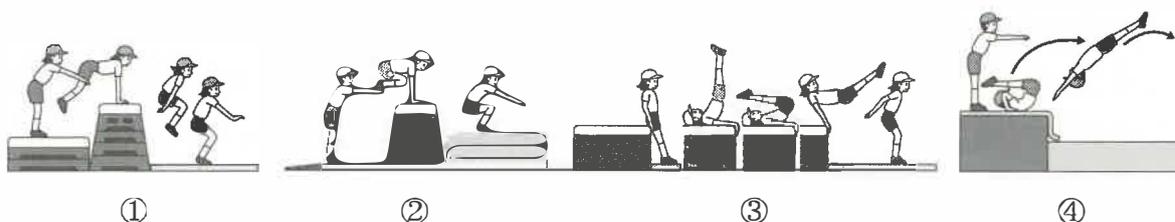
低学年のゲーム領域は、「〔 A 〕」及び「鬼遊び」で構成されている。〔 A 〕では〔 B 〕に触れ、その行い方を知るとともに、〔 C 〕に関する課題を解決することが目指されている。また、例えば、ボールを捕ったり止めたりするようなボールを操作する技能を身に付けることが求められるが、そうしたことが苦手な児童に対しては、柔らかいボールを使ったり、〔 D 〕を使ったりするなどの配慮をする。

〔解答群〕

- | | | |
|---|----------------|------------------|
| ア | 〔A〕 ドッジボール | 〔B〕 簡易化されたゲーム |
| | 〔C〕 相手に勝つこと | 〔D〕 投げやすいボール |
| イ | 〔A〕 ボール遊び | 〔B〕 易しいゲーム |
| | 〔C〕 ルールの工夫 | 〔D〕 いろいろな形のボール |
| ウ | 〔A〕 ボールゲーム | 〔B〕 ゲームの楽しさ |
| | 〔C〕 攻めと守り | 〔D〕 速さの出にくい軽いボール |
| エ | 〔A〕 ベースボール型ゲーム | 〔B〕 ゲームの奥深さ |
| | 〔C〕 得点すること | 〔D〕 打ちやすいボール |

問 5 小学校第5学年及び第6学年の跳び箱運動において、かかえ込み跳びと首はね跳びのために練習の場を準備する際に、①～④の【図】とA～Dの【練習の意図】が正しい組合せになっているものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

【図】



【練習の意図】

- A 着地を高くして抵抗感を低減する。
- B ステージから、はねとつき放しの感覚を養う。
- C はねるタイミング・感覚を養う。
- D 踏み切り位置を高くして、腰を上げやすくする。

	①	②	③	④
ア	D	A	C	B
イ	C	A	B	D
ウ	D	B	C	A
エ	C	D	B	A

問 6 第3学年及び第4学年の走の運動(かけっこ・リレー)の行い方について述べた各文の中から誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア どちらが勝つか分からないように、スタート位置を変えて競走すること。
- イ 楽しみ方を広げるために、いろいろな姿勢から、素早くスタートすること。
- ウ リレーをする際には、走りながらのバトンパスなどができる練習の場を用意すること。
- エ リレーのバトンパスをする際には、テイクオーバーゾーン内で渡すために、渡す人も受ける人も同じ手でバトンを持つこと。

問 7 『小学校学習指導要領解説』における「水遊び」領域で、もぐる・浮く運動遊びが苦手な児童への配慮の例として述べた各文の中から正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア もぐる遊びで、水に顔をつけることが苦手な児童には、思い切って顔全体を水につけるように配慮をする。

イ もぐる遊びで、水の浮力を受け、輪をくぐるのが苦手な児童には、輪の深さや数を変えたり、二人組でつくった手のトンネルをくぐったりするなどの配慮をする。

ウ 浮く遊びで、伏し浮きをすることが苦手な児童には、息を大きく吐いたり、無駄な力を抜いて体を真っ直ぐにしたりすることを助言するなどの配慮をする。

エ バブリングで、水中で息を吐くことが苦手な児童には、水面に浮いたものを吐いた息で移動させたりするなど、息をゆっくりと吐く遊びをするなどの配慮をする。

問 8 『小学校学習指導要領解説』において、「第2章 体育科の目標及び内容 第2節 各学年の目標及び内容〔第3学年及び第4学年〕」の「2 内容 F 表現運動 (1) 知識及び技能 イ リズムダンス」の「リズムと動きの例示」について述べた各文の中から誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア サンバの「ンタッタ(2拍)ンタッタ(2拍)」のシンコペーションのリズムを捉える。

イ 二人で調子を合わせたりかけ合いをしたりして即興的に踊る。

ウ ビートの強いロックのリズムでは、後打ちのリズムの特徴を捉えて踊る。

エ リズムの特徴を捉え、脚の動きを中心にその場で弾む。

問 9 新体カテストの50 m 走の実施方法について述べた各文の中から正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 児童がゴールライン手前で止まってしまうので、前方の5 m ラインまで走らせるようにする。

イ 運動場が狭いため、曲走路を使って50 m を確保する。

ウ スタートの合図からゴールライン上に頭が到達するまでに要した時間を計測する。

エ 児童が、もう一度チャレンジしたいと申し出てきたので、2回目の計測をして向上した記録を測定結果とする。

問10 第4学年の保健で「体の発育・発達」を扱う際に、性に関する指導の留意点について述べた各文の中から誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 体育科の授業だけで扱う内容であるため、低学年から高学年までを見通して、心身の発育・発達と健康、性感染症等の予防などに関する知識を確実に身に付けること。
- イ 生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、相互に関連づけて指導すること。
- ウ 家庭・地域との連携を推進し保護者や地域の理解を得ること、集団指導と個別指導の連携を密にして効果的に行うこと。
- エ 生涯にわたって健康で安全な生活や健全な食生活を送ることができるよう、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行うことができる力を子供たち一人一人に育むこと。

令和 2 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅱ)

外国語(英語)

問 1 次の文章は、「小学校学習指導要領」の「第4章 外国語活動 第2 各言語の目標及び内容等 英語 3 指導計画の作成と内容の取扱い」の「(1) 指導計画の作成に当たっては、第5学年及び第6学年並びに中学校及び高等学校における指導との接続に留意しながら、次の事項に配慮するものとする。」に述べられている内容である。文章中の ① ~ ④ に入る語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動を行う際は、2の(1)に示す事項について理解したり ① したりするための指導を必要に応じて行うこと。また、英語を初めて学習することに配慮し、簡単な ② や ③ な表現を用いながら、友達との関わりを大切にしたい ④ な言語活動を行うこと。

	①	②	③	④
ア	練習	語句	基本的	体験的
イ	練習	単語	標準的	体験的
ウ	やり取り	単語	標準的	探求的
エ	やり取り	語句	基本的	探求的

問 2 次の各文は、「小学校学習指導要領」の「第4章 外国語活動 第2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標」の「(1) 聞くこと」に示されている目標について述べたものである。目標の内容として記載されていないものを、次のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。

イ ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。

ウ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。

エ ゆっくりはっきりと話された際に、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。

問 3 次の各文は、「小学校学習指導要領」の「第4章 外国語活動 第2 各言語の目標及び内容等 英語 2 内容〔第3学年及び第4学年〕〔知識及び技能〕」の「(1) 英語の特徴等に関する事項 イ 日本と外国の言語や文化について理解すること。」について述べたものである。内容として記載されていないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 我が国の文化や、英語の背景にある文化に対する関心を高め、理解を深めようとする態度を養うこと。

イ 英語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。

ウ 日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、多様な考え方があることに気付くこと。

エ 異なる文化をもつ人々との交流などを体験し、文化等に対する理解を深めること。

問 4 次の各文は、「小学校学習指導要領」の「第2章 各教科 第10節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語 3 指導計画の作成と内容の取扱い」における「(2) 2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。ウ 文や文構造の指導に当たっては、次の事項に留意すること。」に述べられている内容である。文中の ① ～ ④ に当てはまる語句の正しい組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(ア) 児童が日本語と英語との ① 等の違いや、関連のある文や ② のまとまりを認識できるようにするために、効果的な指導ができるよう工夫すること。

(イ) 文法の ③ や用法の指導に偏ることがないよう配慮して、④ と効果的に関連付けて指導すること。

	①	②	③	④
ア	語順	文構造	用語	言語活動
イ	語順	語句	説明	言語活動
ウ	表現	文構造	説明	学習内容
エ	表現	語句	用語	学習内容

問 5 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 部 外国語 第 2 章 外国語科の目標及び内容 第 2 節 英語 2 内容」〔第 5 学年及び第 6 学年〕〔思考力、判断力、表現力等〕において、〔(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 オ 書くこと〕に示されている内容を受けた適切な指導を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 活字体の大文字、小文字を一度に全て取り扱い、児童が大文字、小文字を体系的に捉えられるようにする。
- イ いわゆる「ドリル学習」のような、単調な繰り返しの学習に終始するのではなく、何らかの書く目的をもたせたり、ゲーム的要素を取り入れたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫をする。
- ウ 授業においては十分な時間を確保するとともに、児童の発達段階に配慮し、四線に合わせて書くことは求めない。
- エ 年間を通じて、全ての「書くこと」の活動において、文字を書くことができているか、筆記体に慣れ親しんでいるかを丁寧に見届け、指導に生かす。

問 6 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 部 外国語 第 2 章 外国語科の目標及び内容 第 2 節 英語 2 内容」〔第 5 学年及び第 6 学年〕〔思考力、判断力、表現力等〕の〔(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 ウ 話すこと〔やり取り〕〕に示されている内容を踏まえた具体的な言語活動として適切でないものを、次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 自分に関する簡単な質問に対してその場で答えたり、相手に関する簡単な質問をその場でしたりして、短い会話をする活動。
- イ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合う活動。
- ウ やり取りが継続するように、“You like. . .”と相手が言ったことを繰り返したり、“Me, too.”等と応答したりしながら、互いの考えや気持ちなどを伝え合う活動。
- エ レストランでの注文や道案内等、特有の表現がよく使われる場面を取り上げて、相手に指示や依頼をしたり、相手の指示や依頼に応じたり断ったりする活動。

問 7 『小学校学習指導要領解説』の「第 2 部 外国語 第 2 章 外国語科の目標及び内容 第 2 節 英語 1 目標」の「(4) 話すこと〔発表〕」に示された内容を、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 身の回りのものについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。

イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。

ウ 外国語活動での経験を踏まえ、人前でより難易度の高い語句や、発展的な表現を用いて話している。

エ 趣味や得意なことなど、伝える事項が複数あるとき、伝えたいことを整理して話している。

問 8 次の英文は、外国語活動及び外国語の授業で扱うものである。文中の ～ に当てはまる語句の正しい組合せを、下のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

A: I can play .

B: What do you have Monday?

C: You can see it your right.

D: I like .

- | | ① | ② | ③ | ④ |
|---|-----------|----|----|------|
| ア | piano | on | to | dog |
| イ | piano | in | on | dog |
| ウ | the piano | on | on | dogs |
| エ | the piano | in | to | dogs |

問 9 『小学校学習指導要領解説』の「第1部 外国語活動 第2章 外国語活動の目標及び内容 第2節 英語 2 内容」(第3学年及び第4学年)(思考力, 判断力, 表現力等)では, 「(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ② 言語の働きに関する事項」において「ア 言語の使用場面の例」が示されている。以下の表現において誤りを含む表現例を, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア I wake up (at 6:00). I go to school. I go to home. I take a bath.

イ A: What do you want?

B: I want potatoes, please.

ウ A: Let's play cards.

B: Sorry.

エ This is my favorite place.

I like music.

問10 文部科学省が平成29年に作成した『小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック』では、クラスルーム・イングリッシュについて「指導者(日本人の教師)も英語を使うよいモデルとして、授業中の指示や質問にできるだけ英語を使うように努力したいものである。」と述べられている。クラスルーム・イングリッシュを使用する効果について述べた次の英文を読み、～に当てはまる語句の正しい組合せを、下のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

Bryan Gardner and Felicity Gardner (2000),
Classroom English

承諾を得ておらず不掲載

	①	②	③	④
ア	possible	speak	thinking	mistake
イ	possible	listen	thinking	success
ウ	can	speak	think	mistake
エ	can	listen	think	success